

# はままつ市民

## 味を想像し手に力

20.3.8.中

卒業前の小学六年生児童らを対象にしたそば打ち体験教室が七日、浜松市西区西鴨江町の西都台小学校（森和光校長）で開かれ、三十四人が慣れない手つきで挑戦した。

（梅田歳晴）

西都台小  
6年生  
そば打ち体験



### 先生ら20人にも振る舞う

講師は県内外でそば打ちの教室を開く森町三倉の田辺哲さん（左）。校区の地域ボランティア、岡部文男さん（右）が区内の佐鳴台公民館で田辺さんの開くそば打ち教室を受講している縁で、「子どもにもぜひ体験させてもらいたい」と協力を仰いだ。

初めに田辺さんが児童を集めて、そば打ちを実演。そば粉をこね、のし棒で伸ばしながら「一・二・三」らしいの厚さにするんだよ」などとアドバイスした。その後、児童らは数人のグループごとに分かれ、そば粉をこねたり、のし棒で伸ばしたりして完成させた。

そば打ちは初めてという吉野有美佳さん（右）は「自分の手ついでないとは、絶対おいしいはず。どんな味がするか楽しみです」と、そば粉をこねる手にも力が入っていた。児童らは、出来上がったそばを給食の時間に味わい、六年間学校生活を支えてくれた先生ら約二十人に振る舞った。